

会議録

会議の名称	西東京市図書館協議会 平成23年度第2回定例会
開催日時	平成23年7月14日（木曜日）午後3時から5時まで
開催場所	田無公民館会議室
出席者	委員：蚊野委員、谷関委員、富川委員、吉田委員、服部委員、鈴木委員、榎本委員、小西委員、大澤委員 事務局：奈良館長、西村副館長、山川庶務係長
傍聴者	0名
議題	1 平成22年度図書館事業概要について 2 平成22年度図書館事業評価について 3 その他
会議資料の名称	1 平成22年度総括表 2 「図書館協議会（二次評価）」のたたき台について 3 平成22年度西東京市図書館事業概要
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input type="checkbox"/> 会議内容の要点記録
会議内容	
<p>○会長：</p> <p>時間になりましたので、図書館協議会第2回定例会を始めさせていただきます。本日は図書館事業評価が中心になりますが、議事に従いまして、図書館事業概要についてと、その後図書館大会についても併せて館長から説明いただきます。</p> <p>○館長：</p> <p>平成22年度図書館事業概要ができあがりしました。時間があまりありませんので、要点について報告させていただきます。</p> <p>「貸出」については、個人貸出は、2,540,432点ということで、前年度と比較して4万冊ほど減りました。原因は、3月の震災のあと、開館時間の短縮をしたことが一番大きな理由ではないかと思えます。</p> <p>「予約」については、717,165件ということで、予約はインターネットでもできますので、開館時間の短縮にかかわらず、前年より1万件ほど増えています。</p> <p>「平成23年度図書館運営方針」の4 重点事業（1）東伏見駅周辺空き店舗等を利用した図書サービスの提供、（2）ICタグを使用した中央図書館利用者予約棚の設置、（3）未所蔵予約の制限の実施は、いずれも7月から開始されました。</p> <p>平成23年度 第97回全国図書館大会多摩大会が、10月13日、14日に多摩地域で開催されます。参加費を予算に計上していますので、委員の方にはぜひ分科会に参加していただきたいと思えます。</p> <p>○会長：</p>	

事業概要、図書館大会について、何か質問はありますか。

○委員：

予約の曜日別受付件数は、カウンターでは火曜日・水曜日が土曜日・日曜日より多いのが特徴的だと思います。また、未所蔵予約は多いのですか。

○館長：

時間帯別で調査するとさらに興味深くなると思います。未所蔵予約はますます増えてきているので、今回制限させていただくことになりました。

○委員：

リクエストの達成度合はいかがなものでしょうか。新規購入するのと借りるのではどのような割合でしょうか。

○館長：

購入の方が多いです。9割近くは所蔵本・新規購入で処理しています。

○委員：

部門別図書貸出で、大活字本の貸出が谷戸図書館で多いですが、特色化をはかっているのでしょうか。

○館長：

谷戸図書館は、ハンディキャップサービスの拠点館になっていまして、所蔵も多くなっております。

○館長：

事業概要についてはよろしいでしょうか。次に図書館事業評価に移ります。昨年はじめて図書館協議会が図書館事業評価を行いました。今回は、小西委員が昨年の経験を元に「図書館協議会評価（二次評価）のたたき台を用意してくださいましたので、進め方としては、1から17まで順番に内容について昨年を参考にしながら議論していくということで良いでしょうか。

○委員：

昨年は評価項目が細かく分かれているが、今年項目を大きくまとめたのは何か意図があるのでしょか。

○館長：

細目にしなかったことについては、担当者に確認します。

○委員：

協議会評価は、市民の側から見ていった方が良いのではないかと思います。

1 図書館資料の収集と保存については、資料費の維持に努めたことは評価したい。また、保存について、「成人サービス図書資料（一般図書）の保存および除籍に

関する指針」は、利用者も関心を持っていると思うので、もっと周知した方が良いと思う。保存書庫も考えていかなければいけないと思う。

○委員：

資料保存計画の策定については大きく評価できる。資料費については、予算は少なくなりましたが、図書館の努力で良い本を集めたということは評価できるが、資料費をさらに増やすことを要求していく必要がある。

○会長：

特別整理期間については、期間をずらして実施していくのがうまく機能していると思う。

○館長：

ICタグシステムを導入したことにより、時間は短縮されました。しかし、毎月の館内整理日がないこともあり、通常の業務でできないことがいくつもあり、特別整理期間の必要性があります。

○会長：

2 施設・備品の整備について、保谷庁舎と保谷駅北口返却ポストの入れ替えは良いでしょうか。

3 図書館の情報システムの整備については、要は順調だったか知りたい。

○委員：

利用者サイドからは、システムダウンしないことが良いシステムであり、その意味では評価したい。

自動貸出機については、利用を促進することにより、カウンターでより多くの質問を受けられるようにしたいという図書館の姿勢を、折りに触れアピールしていった方が良いと思う。

○会長：

4 利用者と情報の安全管理については、特に問題を感じませんがいかがでしょうか。

○委員：

避難誘導訓練については、館員が利用者を正しく誘導できるよう訓練が重要だと思う。利用者情報の管理は、日常的に職員の意識が大事なので、研修の必要性を感じる。

○会長：

5 図書館資料の効率的な提供の推進についてはいかがでしょうか。

○委員：

貸出冊数、予約受付件数は、全国水準と比較すると非常に高い位置にあると思うの

で評価したい。

○会長：

6 市民の読書活動の援助について、図書館だよりが読み応えがあるようになったと思う。

○委員：

「広報西東京」「西東京の教育」への記事掲載回数が多かったことは評価できる。

○館長：

本日の進行についてですが、まだかなりの分量が残っており、時間も少なくなってきましたので、皆さん読んできていらっしゃったという前提で、わからないということについて質問等をしていただきたいと思います。

○会長：

9 児童サービスの推進で、名作本が閉架に入っていることが多いのに最近気がつきました。児童担当の蔵書構成の基本方針として、ベーシックな図書を児童の利用が多い館では、書架に出してほしいと思う。

○委員：

おはなし会はリピーターが増えるのが重要だと思う。

○委員：

8 レファレンスサービスの推進の中で、参考資料の体系化とはどういうことでしょうか。

○館長：

中央図書館にレファレンス専門担当がいますが、中央図書館の蔵書だけでは回答できないことも多くあり、調べることに必要な資料を体系付けて揃えていくことが必要になるので、それを体系化と言っている。

○委員：

7-3 逐次刊行物サービスの推進について、逐次刊行物は減らされている。雑誌はわざわざ中央館まで来て見るものでもないの、地域館で収集し保存することに重点を置かなければいけないと思う。

○会長：

本日は10番まで終了ということになりましたので、残りは次回に行います。本日議論した協議会評価については、意見等をまとめて次回までに送付します。

それでは、時間になりましたので、本日の協議会は終了します。